

本のむし号外

教育実習生の本のむし



石渡和 先生（体育）

—おすすめの本はなんですか？

原田マハさんの「本日はお日柄もよく」です。
たまたま家にあって、電車で泣きました（笑）
人の心を動かすスキルや言葉のパワーを感じます。

—中高時代は本を読んでいたか？

中高のときは部活に力を入れすぎて、あんまり…。小学生の時は青い鳥文庫やマジックツリーハウスを読みました。

—学生時代を思い返して、いま謝りたい先生は？

M先生とN先生、すみませんでした！



長谷川美紀 先生（数学）

—おすすめの本はなんですか？

村山早紀さんの「コンビニたそがれ堂」です。
短いので手軽に読めて、それでいて心が動かされます！大人になってみると余計に滲みますね。



—中高時代は本を読んでいたか？

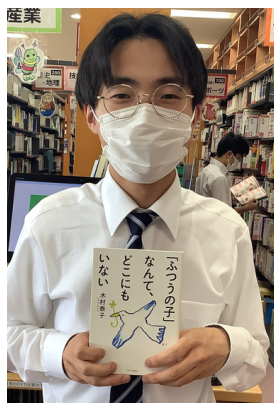
毎日2冊は読むくらい、本好きでした。
ミステリーやヒューマンドラマ、ラノベも読みましたね。同じ村山早紀さんの『シェーラひめのぼうけん』やラノベなら『キノの旅』が好きでした。

—学生時代を思い返して、いま謝りたい先生は？

N先生ですかね…（苦笑）



甘粕遼 先生（社会） 『「ふつうの子」なんて、どこにもいない』 木村泰子



大学2年の時に大学の先生にすすめられて読みました。
「ふつう」を求められて苦しんでいる人はいないでしょうか。一人一人が違う社会で、今なお同じ「ふつう」を求められる雰囲気があると思います。そう感じている人にとって、気持ちが楽になる本だと思います。僕もまだまだですが、みなさんにも、この本に書かれている「人を大切にできる力」「自分の考えをもつ力」「表現する力」「チャレンジする力」をつけてほしいと思います

『監視官 常守朱』 三好輝

落合舞衣 先生（国語）

人間のあらゆる感情を数値化するシステムが統制化された、2112年の日本が舞台。そのうち犯罪係数が規定値を超えた人を「潜在犯」とし、逮捕する公安局に、主人公の常守朱が新人配属される。システムを絶対的正義とする社会で、常守は自分なりの正義を見出していく。現代社会もこのPSYCHO-PASSの世界観に近付いているところがあり、考えさせられます。カッコいいのでぜひアニメも見たい！



川島瑠子 先生（国語） 『わたしを離さないで』 カズオ・イシグロ



ゼミのビブリオバトルで紹介する本を探していた時に手に取りました。
「介護人」として働くキャシーの回想から、物語は始まります。幼少期から青春時代へと、とある施設で育つ中での思い出が語られ、彼女が置かれた世界の実態が、少しずつ明らかになっていって…
描かれる登場人物達の生きた軌跡には、胸に迫るものがあります。作者の示す、人類が辿り得る一種の「極」とも言える未来社会の様相について、これを読んだならあなたはどうか考えるでしょうか。

『本好きの下剋上』 香月美夜

三ヶ尻道軌先生（理科）

アニメをきっかけに読み始めたのに、あまりに面白くてアニメを追いかけて読んでしまいました。念願の司書になれたのに大地震で埋もれて死んでしまった主人公が、5歳の女の子になって異世界に転生します。生活環境が悪くて本どころではないけど、どうしても本が読みたい！という欲だけで、中世的なファンタジー世界を産業革命にまで導いてしまうのがとても面白く感じました。

